

(別紙3)

文起第730号 - 1

令和4年10月11日

(施設名) 米子市美術館
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団
(代表者名) 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司

令和3年度「米子市美術館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市美術館
施設所管課	経済部文化観光局 文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(1年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

新型コロナウイルス感染対策を継続し、前年中止(延期)となった特別共催展を含む全ての展覧会事業を実施。特別企画展では、地元でもあまり知られていない日本画家を取り上げ開催するなど地元作家の調査研究にも努めた。貸館の展示作業では、利用団体の作業協力にも積極的に参加。また、収蔵品の管理も適切に行われ、施設の管理運営面全体として協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理が実施されていた。

【第三者評価】

① 施設について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による関連事業の中止はあったものの、展覧会事業については全て開催し、適正な運営が行われた。これからも安全確保に努めていただきたい。(同意見多数)
- ・市民の文化教養を、より一層高める為の有意義な施設にしようと維持管理が行われた。
- ・立ち入り調査やデータに基づいた検証が適切になされている。
- ・補修点検が必要な箇所について適切に対応されている。簡易補修を職員で行うなど経費削減の工夫もなされている。光熱水費の割合が高いが、今後、電気料金の値上げが予想されるので、対策が必要と考える。
- ・非日常を味わえる空間づくりとして、若手アーティスト等のアイデアを取り入れるな

ど検討していただきたい。

② 管理について

- ・点検業務、定期清掃について計画を上回る回数で実施。安定した管理運営が行われた。
(同意見多数)
- ・立ち入り調査やデータに基づいた検証が適切になされている。
- ・限られた人員で多岐にわたる管理が行われた。
- ・パーテーションの設置、体温管理、消毒の徹底など感染対策に留意した管理運営がなされている。

③ 事業について

- ・展覧会事業を実施するにあたり感染対策、感染防止に努め、迅速かつ臨機応変に対応を行い適正な事業計画を執行した。(同意見多数)
- ・美術館事業としての創意工夫が見受けられた。
- ・空き展示室も見受けられ、利用促進について協議する必要があると考える。
- ・自主事業は施設業務最大の特徴であり、良い評価がつくよう適切なモニタリング調査を継続していただきたい。
- ・地元作家を再発見する企画を積極的に行い、地域の美術館としての役割を果たされている。
- ・アンケートについて、おおむね利用者の満足を得ているとのことだが、どのくらいの回収率からの答えなのか教えていただきたい。
- ・ここ数年、全国区のアートを実現(開催)し、大変素晴らしく思う。
- ・地元作家(木下翠雨)を紹介し興味深く鑑賞できた。今後も地元作家にスポットをあて続けていただきたい。(同意見多数)

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・観覧者ニーズをアンケート等から捉え、収蔵品を効果的に利用した事業企画を立てるなどし、観覧者数増加に繋げることに期待したい。また、第三者評価も参考に更なる運営の向上と、施設の適切な管理を図っていただきたい。

【第三者評価】

- ・コロナ禍に於いて、入館者や職員などの健康面に如何に配慮するかを考える必要がある。
- ・キャッシュレスサービスを導入されたが、今後益々デジタル決済は浸透するので、様々なキャッシュレスサービスへの対応が必要不可欠と感じる。
- ・ツイッターでの発信が業務連絡的なので、学芸員の解説や動画活用など工夫が必要。
- ・シニア層中心から、下の層の来館を促すため、紙ベースからデジタル広報へのシフトが必要と考える。

- ・オンラインでのギャラリートークは、コロナ感染拡大防止のために配信されたとのことだが、今後のオンライン利用も検討していただきたい。（オンラインでの参加人数も把握し、今後の利用促進に繋げてみては。）
- ・市民の美術館に対しての関心が低いような気がするので、今までにないイベントの開催など、市民に愛される地元で根付いた美術館になってほしいと考えます。

令和3年度下期「米子市美術館」モニタリング評価表〔令和4年8月〕

施設名	米子市美術館	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土にゆかりのある優れた作家の美術作品等及び近代以降の版画作品等収集、保管、研究及び展示。 市展、県展、特別企画展、特別共催展、コレクション展（年間2回）、共催展、若手作家支援展、教育普及事業（ミュージアムスクール・年間4回）等	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた、人員を配置し、管理体制も明確であった。 また、マニュアル等も作成し、感染対策、安全対策をはじめ、危機管理体制、態勢を整え利用者、使用者の安全確保に努めている。 資料等確認、立入検査
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	指定申請書に基づき、計画的に研修を受講している。 資料等確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	新聞紙面やテレビ放送などを活用し展示会やイベント事業等を告知するなどし、利用の促進に努めた。 資料等確認
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	昨年中止となった特別共催展を感染症拡大防止に配慮し開催。 人気作家の展示ということもあり、通期並みの入場者数を記録。 その他の展示についても入場者数の増加に努めた。 台帳確認 補足資料1
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	サポーター制度、委員会、アンケートの実施等により要望把握

			に努め、適切に実現策をおこなっている。 立入検査、資料等確認
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われている。 台帳確認、立入調査
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	協定書及び覚書に基づき、適切に実施している。コロナ禍の状況の続くなかで、消毒をこまめに行なった。 台帳確認
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 台帳確認、立入調査
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	備品修理や展示室内のクロス補修などの簡易修繕は施設職員で行うなど、第三者による修繕業務を最小限に抑えた。 台帳確認、立入調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	自主事業計画書に沿って適切に実施された。 資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報保護方針を作成し個人情報を慎重に取り扱っている。 資料確認、立入調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	施設の現状を正確に把握した上で今後の事業を計画しているため。資料確認
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	指定申請書に記載された提案は実施されている。各展覧会やミュージアムスクール等で利用者アンケートを実施し、回答は概ね利用者を満足させている内容であった。 資料等確認、立入調査
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 立入調査
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。	B	指定申請書に基づき、サービス水準向上策を策定し実施し創意

		利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか		工夫のある内容であった。また、利用者への接遇、対応は適切であった。 資料等確認、立入調査
4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	ミュージアムスクールとして学芸員レクチャーを行うなど美術への興味を引くものであった。 資料等確認
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	出前講座等の様々なサービスを提案、実施し、芸術鑑賞の機会を提供するだけでなく、市の事業にも参加協力し美術に対する市民の教養等の向上にも取り組み、常に新しい試みを発案実施している。 資料等確認

Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)

1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	コロナ禍での事業実施を考えると妥当であった。 補足資料2
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	経営状況分析指標は適切であった。 補足資料3
3	団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であった。

<p>【総評 (所管課評価)】</p> <p>昨年より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒液、飛沫防止用アクリルボード及び非接触式体温計などを設置、来場記録の把握や定期的な消毒清掃を行い、安心安全な環境の確保に継続的に努めている。</p> <p>昨年、中止となった特別共催展「草間彌生展」をはじめ、その他の展覧会もコロナ対策をとり開催、鑑賞機会の確保に努めた。また、教育普及事業、ミュージアムスクール、ワークショップなどの事業についても感染状況を勘案しながら管理運営が行われた。</p>	<p>合計点 (66) 点 / (100) 点 ×100 = (66)</p> <p>平均点 (3.3) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)
 B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)
 C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)
 D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和3年4～〕	前年度〔令和2年4～〕	対比	対比が±20%を超える場
----	-------------	-------------	----	--------------

	令和4年3月] A	令和3年3月] B	A-B、A/B		合は増減理由を記載
開館日数(注1)	317(253)	276(228)	41	114.85(%)	
施設利用者数	62,126	59,311	2,815	104.74(%)	
施設稼働率(注2)	79.8%	82.6%	-2.8	96.61(%)	
事業開催数	12	10	2	120.00(%)	事業数増による

(注1) ()の数字は展示日数

(注2) 施設稼働率 展示日数/開館日数 により算出

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和3年4～ 令和4年3月〕A	前年度〔令和2年4～ 令和3年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	59,692,000	52,656,000	7,036,000	113.36(%)	
使用料収入	3,093,114	2,696,942	396,172	114.68(%)	
事業収入	7,384,440	1,793,369	5,591,071	411.76(%)	前年度の事業中止・休館比較による
補助金等	215,630	1,856,800	-1,641,170	11.61(%)	補助金利用額の差による
雑収入	172,134	260,415	-88,281	66.09(%)	広告料減などによる
負担金	0	0	0	0(%)	
合計	70,557,318	59,263,526	11,293,792	119.05(%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和3年4～ 令和4年3月〕A	前年度〔令和2年4～ 令和3年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	29,761,809	27,544,140	2,217,669	108.05(%)	
施設管理費	17,980,317	15,593,541	2,386,776	115.30(%)	
事業費	10,840,981	12,493,541	-1,652,560	86.77(%)	
委託費	5,570,900	4,907,980	662,920	113.50(%)	
事務局経費など	6,403,311	3,205,000	3,198,311	199.79(%)	収支予算による
合計	70,557,318	63,744,202	6,813,116	110.68(%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和3年4～ 令和4年3月〕A	前年度〔令和2年4～ 令和3年3月〕B	対比 A-B、A/B		備考
① 事業収支	0	-4,480,676	4,480,676		
② 利用料金比率	4.38%	4.55%	-0.17	96.26(%)	
③ 人件費比率	42.18%	43.2%	-1.02	97.63(%)	
④ 外部委託費比率	7.89%	7.69%	0.2	102.60(%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	1135.7	1074.7	61	105.67(%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	960.8	887.8	73	108.22(%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうかを確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (年度毎下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	備考
①自己資本比率	55.1%	44.9%	62.8%	44.8%	55.5%	
②流動比率	281.4%	191.7%	323.6%	196.3%	257.0%	
③固定長期適合率	15.6%	11.2%	11.0%	12.6%	10.9%	
④総資産経常利益率	2.3%	4.4%	-0.5%	-8.1%	8.8%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率}(\%) = \text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多く、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率}(\%) = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】} 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本(純資産合計)と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本(純資産合計)と長期で調達したお金(固定負債)でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率}(\%) = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】} 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産(資産合計)に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】} 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
資産合計 2,000	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

【各展示事業感想の一部紹介】

特別共催展「フォーエバー現代美術館コレクション 草間彌生展」

○たまたま立ち寄ることができ、観覧出来てよかったです。（60代女性、倉吉市）

○すごく良い時間でした。ありがとうございました。（10代男性、米子市）

○体調をくずしており、来館を迷ったが元気をもらいました。（60代女性、境港市）

米子市美術展覧会（市展）

○様々な分野の作品を観ることができて楽しかったです。（20代女性、米子市）

○市展の会期を少し長くしていただきたいです。（50代男性、琴浦町）

○もっと多くの作品を観覧したいです。（70代女性、米子市）

特別企画展「甦る日本画家 木下翠雨展」

○子供でも楽しめる絵でした。（10才未満女性、米子市）

○花の柔らかな質感の表現は、手で触れてみたくなるような優しさのある色味でした。（10代女性、米子市）

○洋風化が進む昨今において、あらためて日本画（和）の素晴らしさを伝えていただけると嬉しいです。（50代男性、米子市）

コレクション展Ⅰ（版画の多様性）

○初めて見る版画作品も多くあり、今後も展覧会の機会を作ってほしいです。(70代男性、米子市)

コレクション展Ⅱ(日常のかたち)

○順路が朝食から始まり一日の終わりに向かっていくという流れで作品展示しており、正に「日常のかたち」となっているあたりも面白かったです。(30代女性、米子市)

若手作家支援展「朝倉弘平 雲わく庭から」

○作品にストーリーがあり、観る者の心を和ませてくれる。また、色彩も素晴らしく癒されました。(60代女性、宮城県)

○絵画のことはよくわからないのですが、とても感動しました。(20代女性、境港市)

○普段見慣れた景色が、作家により、鮮やかで、雄大で希望にあふれた景色になっており、何だか嬉しい温かい気持ちになりました。

(20代女性、米子市)